



動画マークがついた写真は、
「市公式YouTube」から動画
でご覧いただけます。



動画はこちらから▲



▲ご飯とあんにはほうじ茶を使用したあんかけ丼

凛茶を試飲する来場者▶



“ほうじ茶の香りがするまち”をPR

富士のほうじ茶フェア 8月7〜22日
道の駅富士川楽座、道の駅富士

富士市産ほうじ茶の魅力をPRするため、道の駅内のレストランやフードコートなどで、富士のほうじ茶を使用したパスタや丼もの、スイーツが提供されました。14・15日には道の駅富士川楽座で富士のほうじ茶のトップブランド「凛茶」の販売が始まり、試飲・販売会が行われました。販売された凛茶は水出し専用のティーバッグで、香り高くすっきりした味わいが特徴。11月にはリーフ茶での販売も予定されており、現在商品開発が進められています。



▲富士市の風景を描いたと言われている3図を見学

◀会場では様々な資料を展示

富士市ゆかりの北斎作品などを展示

知ってますか？北斎が描いたまち
富士市 8月17〜31日 中央図書館

今も根強い人気を持つ江戸時代の浮世絵師、葛飾北斎の代表的作品「富嶽三十六景」のうち、「駿州片倉茶園ノ不二」など3図は富士市の風景を描いたと言われています。展示会場には、この3図と実際の風景写真を一緒に展示したコーナーが設けられ、訪れた人たちは絵と写真を見比べていました。今回の展示では、絵手本として出版された「北斎漫画」や、北斎の手柄が伝わる豆知識のコーナーも設けられ、来館者は足をとめ、北斎の世界を満喫していました。



▲須津溪谷橋から撮影した様子

◀暗闇に向かってバンジージャンプをする挑戦者



水流が照らされ幻想的な夜の滝

大瀬の滝ライトアップ

8月21日 須津川溪谷

「富士ナイトバンジー」の事業に合わせ、今年で2回目となる大瀬の滝のライトアップが行われました。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、観覧は須津地区の人のみを対象としました。明るくライトアップされた滝は流れる水の勢いで白く光っているように見え、来場者は日中とは異なる幻想的な滝の様子を写真に収めていました。須津溪谷橋のバンジージャンプ台周辺は虹色にライトアップされ、挑戦者たちを盛り上げました。